

医学部進学
特別対談

主体的に学び続ける医療人の育成を

国内有数の進学校で、東大合格実績はもとより医学部進学実績が高い灘中学・高校(神戸市東灘区)。

「生徒が主役の学校」として明文化された校則がなく、生徒自身の自由と自主性が尊重されている。

医療人を志している医学部受験生のためにいま、どのような教育が進められているのか。海保雅一同校長と医系専門予備校として全国一の進学実績を重ねている「メディカルラボ」本部教務統括、可児良友氏に語っていただいた。



灘中学・高校

海保雅一 校長

1958年兵庫県生まれ。京都大学経済学部を卒業。
公立高校教諭を経て、1994年、灘中学校・灘高等学校の
英語科教諭に。
教頭を経て2022年4月に校長を務めている。

医系専門予備校メディカルラボ

可児良友 本部教務統括

1991年から大手予備校で受験生を指導。
2006年、「メディカルラボ」開校に責任者としてかかわり、
現在は本部教務統括を務める。
医学部受験に関する著書を多数執筆、医学部進学をテーマに
数多くの講演を行っている。

◆ 探究心・好奇心を育てる環境を
可児 探究心を育むためにどのようなことをさ
れておられますか。
海保 お子様の探究心や好奇心を育む土壤は、幼
児期や学童期に作られると思っています。幸いな
ことに、本校生徒の多くは幼児期や学童期に自然
体験や音楽、スポーツに親しむなど、しっかりと
した「土壤作り」がなされていて、旺盛な好奇心・
探求心を持って入学してきます。

可児 そのような講座を通して生徒たちの学び
へのモチベーションも高まるでしょうね。
海保 生徒たちはできるだけ幅広い分野に興
味を持つてもらい、多分野で活躍してもらえるよ
うに努めています。医療系でも産業医、技官、医療
分野での起業家や投資家など、さまざまなキャリ
アを重ねる道もあります。

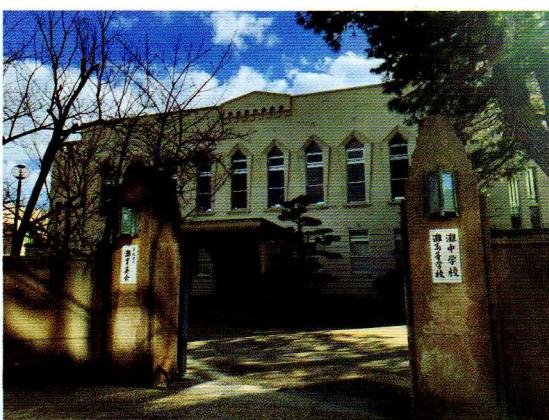
◆ 灘高校の医学部進学者は約3分の1

可児 全国でも非常に高い医学部進学実績を重
ねておられます。現状はいかがですか。

海保 卒業生(1学年)約220人のうち 70人前
後が医学部志望で、約3分の1を占めています。
保護者が医師をされているご家庭も多いですね。
可児 貴校にはもともと進学への意識の高い生
徒が集まっています。医学部進学に合わせた
指導をされておられますか。

海保 特別なことはやつていません。ただキャリ
ア教育の視点も踏まえた「総合的な探究の時間」
として、土曜講座を前期と後期に計6回を開いて
います。各界の最前線で活躍されている方々を講
師に招き、生徒の探究心を喚起するハイレベルな
講義をしていただいている。当然、医療分野で
活躍する卒業生の講義も多く、京都大学医学部長
の伊佐正先生や、アメリカ国立がん研究所で光
免疫療法を開発された小林久隆先生も講師とし
て来校されました。

可児 入学してきた生徒たちは既に探究心を備えているんですね。そういう生徒をさらに伸ばすための教育目標、教育の基本方針についてお聞かせください。



灘校は昭和2年に設立させ、弘道館柔道の創始者である嘉納治五郎氏が顧問に就いた。自主性を重んずる自由の校風で知られ、現在は制服も頭髪規則もない。

海保 一つは、生徒が好奇心・探求心に駆動される活動を、自由に主体的に行うことができる学校環境を用意することです。本校には、生徒の主体的行動を制限する校則はありません。創立顧問の嘉納治五郎先生が提唱された講道館柔道の根本理念「精力善用」「自他共栄」を校是として掲げています。生徒は各局面でのどのように行動するかを、校是を指針として主体的に判断します。

もう一つは、生徒の好奇心・探求心を刺激する様々な仕掛けを設けることです。

可児 具体的にはどのようなことをされておられますか。

海保 生徒の旺盛な好奇心・探求心に応える質の高い授業や年間60講座以上開設される土曜講座の実施、約8万冊の蔵書を備えた図書館の活用などが挙げられます。図書館は探究的な学びのセンターです。専任の司書教諭2名が常駐し、書籍の目次まで検索できる高度な検索システムもあります。

◆ 大学入試改革をめぐって

可児 大学入試改革をめぐって学力の3要素(思考力・判断力・表現力)と主体的な学習がもとめられていますが、それに合わせた指導を特にしていますか。

海保 本校では難関国公立大学の入試に対応した学習指導を続けています。難関大の2次試験では、そこそく思考力・判断力・表現力を求める問題がもう何十年前から出されており、丸暗記では全

また、灘校では「生徒が主役の学校」のスローガンを掲げ、部活動や生徒会活動を大いに奨励しています。重要な学校行事は、生徒会と傘下の各種委員会が企画・運営を行っています。

可児 このような知的刺激溢れる環境で主体的に活動する中で、生徒は自分の真の得意分野を見いだし、その資質・能力を伸ばすのです。これこそが「心身の力の最有効活用」すなわち「精力善用」なのです。

可児 それは、本当に大切なことだと私たちも考えています。メディカルラボでは、マンツーマンで教育することで、生徒一人ひとりの個性を生かし、資質・能力を伸ばすのに効果を上げてきました。そのうえで、貴校のように自ら学んでいく姿勢を身につけられるのが理想ですし、将来、医師になつたときにも必要なことです。

海保 課外活動や特別活動の中で多くの人と触れ合い、コミュニケーション能力を高めることも大事です。人ととの間の調整力も鍛えていかなければなりません。

可児 貴校の生徒たちは教科書の内容を超えた探究心がありますよね。それに対応するために教員の準備が大変そうですね。

海保 それは灘校の教員の宿命です。教員は生徒の高い好奇心・探求心に対応すべく全精力を傾けて授業を実践しています。目前で教材を作成するのは本当に大変ですよ。

◆ ロールモデルを重視

可児 中学、高校での海外短期留学についてはいかがですか。

海保 コロナ禍で4年間、中断していましたが、7月に高1と高2の生徒が英国に異文化研修に行きます。異文化について学ぶのは大切で、2週間の日程で約50人が参加します。国際科学オリンピックへの関心也非常に高く、今年はメダルを9個も取得しています。そんな生徒には海外からの大学の勧誘もあります。

可児 そのような教育環境を維持していくのは大変ですね。

海保 「精力善用」「自他共栄」の理念を実践するロールモデルが次々と生まれることが、学校環境維持の必須の条件です。教員や保護者も勿論、ロールモデルになり得のですが、自分が決めた進路を2、3年先に進んでいる先輩の方が、進路実現の方針をより具体的に示してくれる優れたロールモデルになるのです。灘校の教員は、生徒

く対応できません。灘校では、学力の3要素は入試改革以前から取り組んでいたという思いです。しかし、大学側も「主体性」を評価するのは大変でしょうね。

可児 そうですね。ただ、医学部入試では、主体性を評価するための面接試験があります。入試改革以降は面接試験が多様化し、模範的な受け答えだけでは通用しなくなっていますね。

海保 医学部に進学した多くの先輩等の助言を受け、主体的に進路決定をする生徒が多数なのですが、志願理由書の作成を含め面接対策に苦労することはあまりありません。

可児 新しい入試制度は、いまの灘校で行われている教育内容に向かっているように思われますね。

海保 私もそう思っています。先達から受け継いだ「自主・自由、生徒が主役」の学校環境は「新しい学び」の実現に適うものです。

に進路実現のための助言は行いますが、進路説導のようなことは一切行いません。

可児 最後に医学部進学を目指している生徒や保護者のみなさんにメッセージを。

「医学部受験」を決めたらまず読む本

無料プレゼント

お申込みは、下記
二次元コードから



◎学校法人灘育英会 灘中学・高校

神戸市東灘区魚崎北町8-5-1

6年一貫の教育で中1から高3まで同じ学年担任団が、授業や進学・生活指導を行っている。

中学募集人員約180人、高校約40人。

令和5年度の医学部合格状況によると東京大学理Ⅲ15人、京都大学医17人、大阪大学医9人、神戸大学医3人……となっている(令和5年度同学会飞覧)

◎医系専門予備校 メディカルラボ

北海道から熊本まで全国熊本26校舎ネットワークを開設している医系専門予備校。

完全個別「授業・カリキュラム」「受験戦略」「担任制度」などの合格メソッドで2023年度医学部医学科合格実績1183人(医系専門予備校N o 1*)

*株式会社東京商工リサーチ調べ。